

# 滝沢市公共施設等総合管理計画 個別施設計画

## 第一期

(2020年～2026年)

### 【学校教育施設】

令和2年4月

教育委員会教育総務課：

姥屋敷小学校、鶯飼小学校、一本木小学校、滝沢第二小学校、  
柳沢小学校、滝沢小学校、篠木小学校、滝沢東小学校  
姥屋敷中学校、滝沢南中学校、滝沢中学校、滝沢第二中学校、  
一本木中学校、柳沢中学校

## 個別施設計画（学校教育施設）（第一期）

### 1 背景

本市の学校施設は市所有施設の約60%（延床面積）を占めており、これらの学校施設の老朽化対策は本市が抱える深刻な問題であり、そのうち築20年から40年の学校施設が約70%を占め、改修、改築時期等も一斉に迎えることになり、財政支出の集中が危惧されます。

一方、文部科学省においても「文部科学省インフラ長寿命化計画」が策定されたほか、本市においても、「滝沢市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）」（以下、「総合管理計画」という。）を策定したところであり、これらを踏まえ、学校施設における個別施設計画の策定も求められています。

また、滝沢市教育大綱や第1次滝沢市総合計画後期基本計画（H31~H34）に掲げる、「生き生きと学習できる教育基盤の充実」に基づき学校施設の整備、維持管理を進め、滝沢市のめざす学校像である「正義」と「信頼」の学校を築き上げるため、教育基盤の充実を進める必要があります。

### 2 目的

この計画は、総合管理計画に基づき、施設類型ごとに方針を定めるものとします。

### 3 対象施設

この計画は、総合管理計画で分類する「学校教育施設」に該当する施設を対象とします。

### 4 計画期間

総合管理計画の計画期間2017年度（平成29年度）から2046年度までの30年間を三期に分け、2020年度から2026年度までを第一期とし、この計画の期間とします。

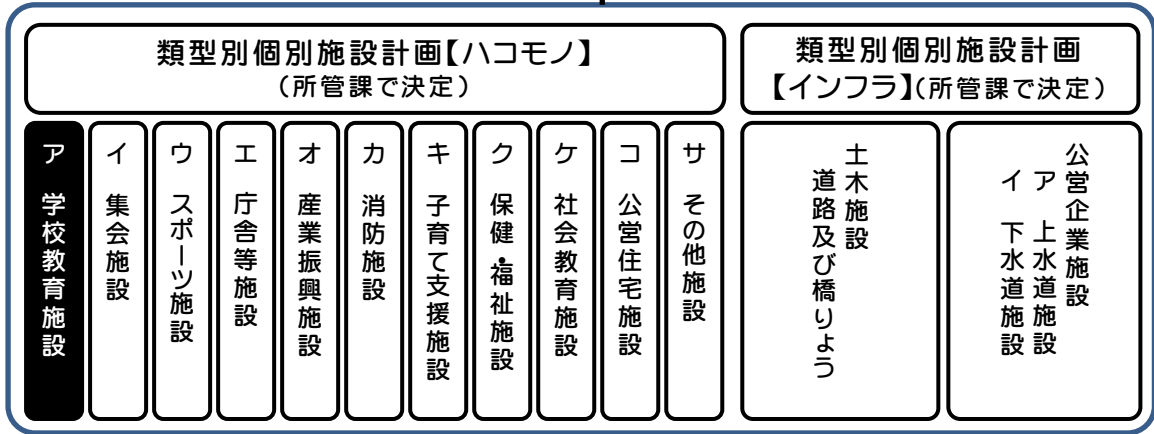
この計画の見直しは、総合管理計画の見直しと同時期（5年ごとの国勢調査の確定値の公表年度）としますが、社会情勢等により変更が必要となった場合には、その都度見直すこととします。



5 計画の関係

滝沢市公共施設等総合管理計画【30年間】平成29年3月

個別施設計画



## 6 計画の推進・管理体制

個別施設計画については、総合管理計画の類型ごとに策定する計画であるため、各施設所管課において各施設の方向性を検討し策定します。施設の所管が複数課にまたがる場合や横断的な判断が必要とされる場合には、滝沢市公共施設等総合管理推進プロジェクトチーム会議において調整した後、事務局である財務課が総合調整を行います。

個別施設計画策定後は、毎年度P D C A管理により計画の進捗状況を把握し、計画を見直しするなど施設の計画的な改修等に努めます。

## 7 施設一覧

施設名	建物名	建築年度	経過年数 (2017現在)	構造	延床面積 (㎡)
滝沢市立篠木小学校	校舎1	1988	29	RC造	3,401.00
	校舎2	1988	29	RC造	1,092.00
	体育館	1988	29	S造	200.00
滝沢市立滝沢小学校	校舎1	1982	35	RC造	3,653.00
	校舎2	1982	35	RC造	84.00
	体育館	1982	35	S造	1,000.00
	校舎3	1984	33	RC造	629.00
	校舎4	1984	33	RC造	168.00
	校舎5	1991	26	RC造	168.00
	校舎6	1991	26	RC造	920.00
	渡り廊下1	1991	26	RC造	124.00
	校舎7	2012	5	木造	226.00
	渡り廊下2	2012	5	木造	12.00

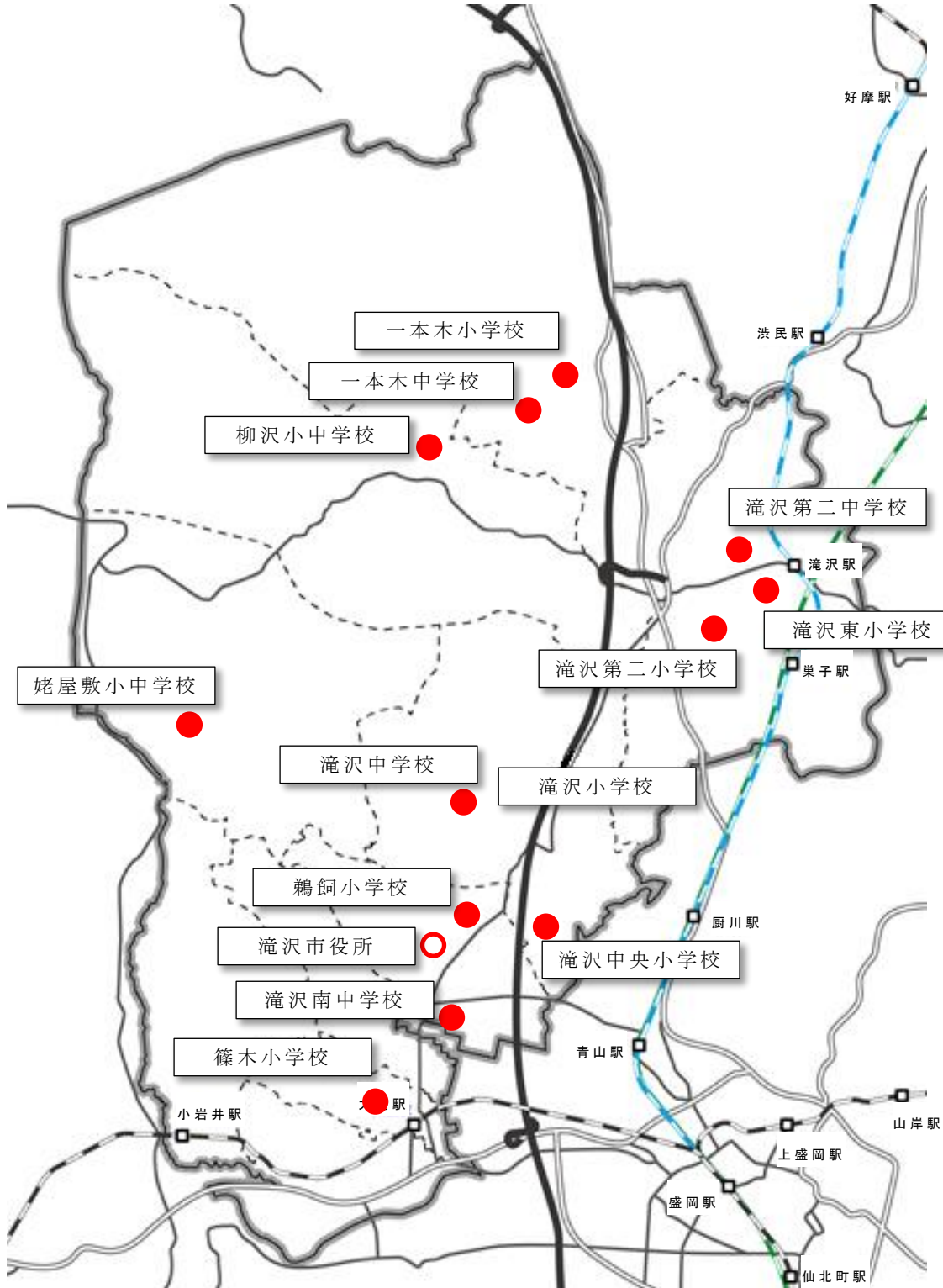
施設名	建物名	建築 年度	経過 年数 (2017現在)	構造	延床面積 (㎡)	
滝沢市立滝沢第二小学校	校舎1	1978	39	RC造	410.00	
	校舎2	1978	39	RC造	21.00	
	校舎3	1978	39	RC造	1,256.00	
	校舎4	1978	39	RC造	1,423.00	
	校舎5	1980	37	RC造	1,369.00	
	校舎6	1980	37	RC造	514.00	
	体育館1	1980	37	S造	931.00	
	体育館2	1980	37	S造	25.00	
	体育館3	1980	37	S造	25.00	
	校舎7	1986	31	RC造	582.00	
	校舎8	1986	31	RC造	202.00	
	校舎9	1986	31	RC造	201.00	
	滝沢市立鵜飼小学校	校舎1	1976	41	RC造	542.00
校舎2		1978	39	RC造	1,063.00	
校舎3		1979	38	RC造	794.00	
校舎4		1983	34	RC造	64.00	
校舎5		1978	39	RC造	775.00	
体育館1		1981	36	S造	999.00	
体育館2		1986	31	S造	88.00	
校舎6		1986	31	RC造	1,308.00	
校舎7		1986	31	RC造	222.00	
校舎8		1987	30	RC造	1,456.00	
校舎9		1987	30	RC造	6.00	
滝沢市立一本木小学校		体育館1	1977	40	S造	987.00
		体育館2	1977	40	S造	30.00
	校舎1	1993	24	RC造、S造	2,013.00	
	校舎2	1993	24	RC造、S造	36.00	
	校舎3	1994	23	RC造、S造	127.00	

施設名	建物名	建築年度	経過年数 (2017現在)	構造	延床面積 (㎡)
滝沢市立姥屋敷小学校	校舎1	1947	70	木造、CB造	128.00
	校舎2	1947	70	木造、CB造	79.00
	校舎3	1984	33	木造、CB造	25.00
	校舎4	1947	70	木造、CB造	194.00
	校舎5	1979	38	RC造、木造	375.00
	渡り廊下1	1979	38	RC造、木造	27.00
	体育館(小中供用)	2009	8	S造	273.00
	渡り廊下2	2010	7	S造	11.00
	校舎6	2010	7	軽量鉄骨造	82.00
	滝沢市立柳沢小学校	校舎1	1979	38	RC造
校舎2(小中供用)		2002	15	RC造	1,330.00
校舎3		2002	15	RC造	43.00
体育館(小中供用)		2003	14	RC造	204.00
滝沢市立滝沢東小学校	校舎1	1995	22	RC造	4,344.00
	校舎2	1995	22	RC造	140.00
	体育館1	1995	22	S造	1,092.00
	体育館2	1995	22	S造	48.00
	体育館3	1995	22	S造	200.00
滝沢市立滝沢南中学校	校舎1	1980	37	RC造	1,960.00
	体育館	1988	29	S造	1,200.00
	クラブハウス	1988	29	S造	200.00
	校舎2	1994	23	RC造	1,365.00
	校舎3	2007	10	RC造	3,568.00
	渡り廊下1	2007	10	RC造	78.00
	武道場	2013	4	S造	466.00
	渡り廊下2	2013	4	S造	20.00

施設名	建物名	建築 年度	経過 年数 (2017現在)	構造	延床面積 (㎡)
滝沢市立滝沢第二中学校	校舎1	1985	32	RC造	3,173.00
	校舎2	1985	32	RC造	519.00
	体育館	1985	32	S造	1,134.00
	渡り廊下1	1985	32	S造	103.00
	クラブハウス	1985	32	S造	200.00
	校舎3	1992	25	RC造	1,136.00
	校舎4	1993	24	RC造	1,071.00
	武道場	2012	5	S造	561.00
	渡り廊下2	2012	5	S造	19.00
滝沢市立一本木中学校	校舎	1992	25	RC造	1,967.00
	体育館	1992	25	RC造	854.00
	クラブハウス	1992	25	RC造	200.00
滝沢市立姥屋敷中学校	校舎1	1951	66	木造、CB造	87.00
	校舎2	1963	54	木造、CB造	83.00
	渡り廊下	1963	54	木造、CB造	20.00
	体育館(小中供用)	2009	8	S造	345.00
滝沢市立柳沢中学校	校舎2(小中供用)	2002	15	RC造	701.00
	校舎1	2002	15	RC造	91.00
	体育館(小中供用)	2003	14	RC造	926.00
滝沢市立滝沢中学校	校舎1	1985	32	RC造	742.00
	校舎2	1985	32	RC造	2,541.00
	体育館1	1985	32	S造	1,125.00
	体育館2	1985	32	S造	112.00
	体育館3	1985	32	S造	200.00
	校舎3	1992	25	RC造	583.00
	校舎4	1992	25	RC造	558.00
	武道場1	2011	6	S造	561.00
	武道場2	2011	6	S造	8.00
面積計					66,556.00

※滝沢中央小学校は、H31年開校による新設校であることから、次回、見直しから計画に盛り込むこととします。

# 学校教育施設位置図





## 8 施設の状況

本市が設置する学校施設は、平成31年4月現在で小学校9校（うち小中学校併設校2校）、中学校6校（うち小中2併設校2校）の計15校です。全校の総延床面積は約6.6万㎡を有しており、そのうち30年以上の建物が4万㎡（61%）と半数以上を占めております。また、10年後には現在築20年以上の建物も含めると5.7万㎡（86%）が築30年以上となり、今後、改修・改築等の時期を一斉に迎えることとなります。その他プール、遊具及びグラウンド排水設備等付帯する設備も同じく改修・更新時期を迎えております。

① 外壁の劣化（鉄筋の膨張による爆裂）	② 外壁の劣化（剥がれ）
外壁落下の原因となる	外壁落下の原因となる
	
③ 屋根の劣化（錆）	④ 鉄骨柱の劣化（錆）
雨漏りや落下等の原因となる	強度不足等の原因となる
	
⑤ 内装（ビニル床タイルの劣化）	⑥ 内装（フローリングブロックの劣化）
つまずき、転倒等の原因となる	ささくれによる怪我等の原因となる
	

<p>⑦ 内装 (雨漏りによる天井材の劣化) 天井材の劣化や漏電等の原因となる</p>	<p>⑧ 家具 (大きさ不足) サイズ現代のニーズと合致していない</p>
	
<p>⑨ 設備 (和式便器) 現代のニーズに対応していない</p>	<p>⑩ 設備 (揚水ポンプの劣化) 高架水槽の濁水及び漏水の原因となる</p>
	
<p>⑪ 設備 (放送設備の劣化) 緊急時、学校運営に支障をきたしている</p>	<p>⑫ プールの劣化 つまずき、転倒等の原因となる</p>
	

## 9 利用状況

利用状況については、各学校の通常学級の学級数を文部科学省の基準に照らし合わせると、小学校の過小規模校2校、小規模校2校、適正規模校2校、大規模校2校です。中学校は過小規模校1校、小規模校2校、適正規模校2校、大規模校1校となっております。

7割の学校については、適正規模以外となる学校規模で学校生活を送っており、小規模校等のメリットもありますが、何らかの課題がある中、学校生活を送っている状況です。

文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」による対応の目安等を参考にしながら、児童・生徒の教育環境、地域のコミュニティ、防災拠点等の役割、地域性などを総合的に勘案し、各学校のあるべき姿を検討していく必要があります。

【適正規模以外の学校の課題（例）出典：（文部科学省）学校規模によるメリット・デメリット（例）抜粋】

### ○ 小規模校化メリット

- 児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。
- 異学年間の縦の交流が生まれやすい。
- 全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。

### ○ 小規模化デメリット

- 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。
- 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。
- 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。

### ○ 大規模化メリット

- クラス替えがしやすいことなどから豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい。
- 子ども一人あたりにかかる経費が小さくなりやすい。
- 学校全体での組織的な指導体制を組みやすい。

### ○ 大規模化デメリット

- 全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。
- 特別教室や体育館等の施設・設備の利用の面から、学校活動に一定の制約が生じる場合がある。
- 保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。

## 10 学校施設の目指すべき姿

学校施設は、教育活動を行うための基本的かつ重要な要素の一つであり、学校教育指導計画に掲げる「めざす学校像」と「めざす教育」の実現と第1次滝沢市総合計画後期基本計画に掲げる、「居心地の良い教育環境の充実」、「安全安心な教育施設の整備」の実現に向け、学校施設の環境の充実が必要です。

また、学校施設は各地域の防災拠点やコミュニティの役割を果たす施設でもあるため、安全安心な施設環境を確保することも重要です。

文部科学省の学校施設の在り方に関する調査協力者会議からの報告書を参考に、長寿化計画の策定にあたり学校施設として備えておくべき基本的な条件を以下に示します。

<p><b>1. 安全性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害対策           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震に強い学校施設</li> <li>・ 洪水に強い学校施設</li> <li>・ 防災機能を備えた学校施設</li> </ul> </li> <li>○防犯・事故対策           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全で安心な学校施設</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>3. 学習活動への適応性(続き)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○理数教育の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充実した観察・実験を行うための環境</li> </ul> </li> <li>○運動環境の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充実した運動ができる環境</li> </ul> </li> <li>○外国語教育の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国語活動等におけるジェスチャーゲームなどの体を動かす活動や、ペアやグループでの活動など、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間</li> </ul> </li> <li>○学校図書館の活用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境</li> <li>・ 調べ学習や習熟度別学習、チームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間</li> <li>・ 各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのICT環境</li> <li>・ 地域に開かれた学校とするための環境</li> <li>・ 地域の生涯学習の拠点となる学校施設</li> </ul> </li> <li>○キャリア教育・進路指導の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 充実したキャリア教育・進路指導を行うための環境</li> </ul> </li> <li>○食育の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食育のための空間</li> </ul> </li> <li>○特別支援教育の推           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリアフリーに配慮した環境</li> <li>・ 自閉症、情緒障害又はADHD等のある児童生徒に配慮した学校施設</li> </ul> </li> <li>○環境教育の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球環境問題への関心を高めるためのエコスクール</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>2. 快適性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○快適な学習環境           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習能率の向上に資する快適な学習環境</li> <li>・ 児童生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校</li> <li>・ バリアフリーに配慮した環境</li> <li>・ 子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間</li> <li>・ トイレの洋式化による環境改善</li> </ul> </li> <li>○教職員に配慮した環境           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員に配慮した空間</li> <li>・ 教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要なICT環境</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>4. 環境への適応性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境を配慮した学校施設(エコスクール)</li> </ul>
<p><b>3. 学習活動への適応性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主体性を養う空間の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境</li> <li>・ 子どもたちの教科等に対する興味関心を引き自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間</li> <li>・ 子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間</li> <li>・ 社会性を身に付けるための空間</li> </ul> </li> <li>○効果的・効率的な施設整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 習熟度別指導や少人数指導などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間</li> <li>・ 調べ学習や習熟度別学習、チームティーチングなどの多様な学習集団、学習形態を展開するための空間</li> <li>・ 各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのICT環境</li> <li>・ 各教科等の授業を充実させるための環境</li> </ul> </li> <li>○言語活動の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各教科等における発表・討論などの教育活動を行うための空間</li> <li>・ 子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境</li> <li>・ 各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのICT環境</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>5. 地域の拠点化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全で安心な学校施設</li> <li>・ バリアフリーに配慮した環境</li> <li>・ 地域に開かれた学校とするための環境</li> <li>・ 地域の生涯学習拠点となる学校施設</li> </ul>

## 1.1 更新費用の推計

総合管理計画では、公共施設（ハコモノ）の大規模改修及び建替えに係る経費の見込みを2017年から2046年までの30年間で総額約354億円と試算していますが、個別施設計画策定に伴い再精査した結果、総額約361億円（年平均12億円）となりました。その中で学校教育施設においては、大規模改修及び建替えに係る経費見込みとして30年間で約200億円を見込んでいます。

また、現時点で直近10年間の更新費用には各学校施設の大規模改修費用は含めておりませんが、大規模改修が必要となる築30年を経過した学校施設は体育館も含め9校あり、早急に学校適正規模の在り方を検討し、優先順位等を決め、改修規模の検討や平準化等による財政負担の軽減を図っていく必要があります。

※現時点で実施予定としている鶴飼小学校大規模改修、トイレ改修及び放送設備改修以外の改修等は計上しておらず、適正規模の在り方検討後、改修内容等を決定し事業年度等を計画することとする。

## 1.2 過去実績の推移

庁舎等施設における2014から2016年度までの施設に係る支出（維持費）は、次のとおりとなっています。

単位：千円

	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	計
篠木小学校	15,547	12,766	18,331	46,644
滝沢小学校	74,758	31,921	32,827	139,506
滝沢第二小学校	40,491	19,698	17,680	77,869
鶴飼小学校	37,344	20,078	29,896	87,318
一本木小学校	11,003	49,582	13,319	73,904
姥屋敷小学校	7,461	7,332	6,822	21,615
柳沢小学校	10,430	63,994	7,326	81,750
滝沢東小学校	22,803	15,218	15,062	53,083
滝沢南中学校	89,420	47,551	25,617	162,588
滝沢第二中学校	30,553	18,966	17,958	67,477
一本木中学校	9,917	27,335	9,423	46,675
姥屋敷中学校	6,365	1,866	1,291	9,522
柳沢中学校	3,358	6,347	1,445	11,150
滝沢中学校	17,149	15,790	17,786	50,725
計	376,599	338,444	214,783	929,826

学校教育施設において、改修工事等により各年度に差がありますが、平成28年度は大規模な改修工事等を行っていないため、おおよその固定費としては平成28年度の215百万程度となります。ただし、令和2年度からは令和元年度整備完了予定の空調設備の利用により電気料の増額が見込まれます。



### 1.3 施設の評価

施設の方向性を判断するために、**ハード面**と**ソフト面**の両面から評価を行います。

ハード面は、躯体そのものに係る躯体の判定と屋根や外壁、設備などの躯体以外の判定により評価を行います。

ソフト面は、施設の利用実績や施設運営コストなど、施設運営面からの評価を行います。

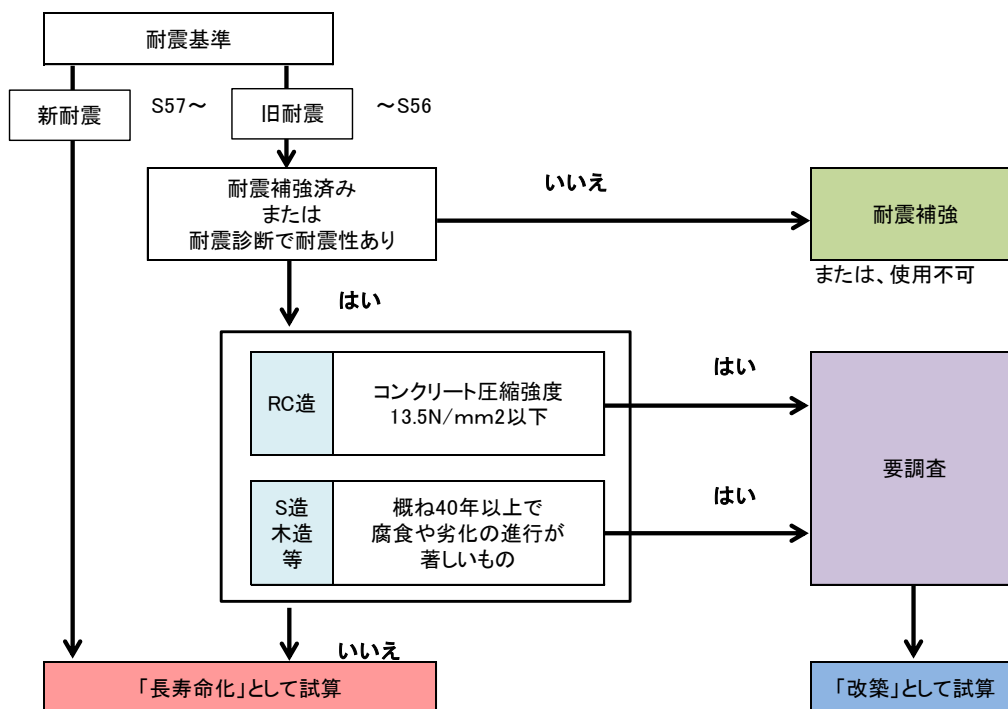
#### (1) 施設ハード面の評価

##### ア 躯体の判定

旧耐震基準で建設された公共施設は、全ての施設で耐震補強工事が完了しているほか、非構造部のうち、特定天井についても落下防止対策工事が完了しており、災害時の拠点施設としての機能が確保されています。

長寿命化とする施設の判定は、具体的な解説がある文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」の長寿命化判定フローを用いて行います。また、目視による評価の基準を以下のように定め、評価を行います。これらの評価結果を踏まえ、躯体の判定を行います。

#### ① 躯体の長寿命化判定フロー



#### ② 躯体目視による評価基準

躯体目視による評価	
評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等



○躯体の判定結果

学校教育施設の躯体の判定結果は、下表のとおりとなりました。建築年度が古く、木造、CB造、S造の建物においては、要調査又は改築と判定されました。

また、長寿命化の判定結果が出ているものの、躯体目視の結果、C判定の結果の建物もあるため、これらの建物については、今後、長寿命化を図るためには、優先的に修繕・改修を行っていく必要があると考えられます。

施設名	建物名	建築年度	構造	耐震基準	耐震補強	躯体目視	躯体判定
滝沢市立篠木小学校	校舎1	1988	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎2	1988	RC造	新	—	B	長寿命化
	体育館	1988	S造	新	—	B	長寿命化
滝沢市立滝沢小学校	校舎1	1982	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎2	1982	RC造	新	—	B	長寿命化
	体育館	1982	S造	新	—	B	長寿命化
	校舎3	1984	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎4	1984	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎5	1991	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎6	1991	RC造	新	—	B	長寿命化
	渡り廊下1	1991	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎7	2012	木造	新	—	A	長寿命化
渡り廊下2	2012	木造	新	—	A	長寿命化	
滝沢市立滝沢第二小学校	校舎1	1978	RC造	旧	対応済	B	長寿命化
	校舎2	1978	RC造	旧	対応済	B	長寿命化
	校舎3	1978	RC造	旧	対応済	B	長寿命化
	校舎4	1978	RC造	旧	対応済	B	長寿命化
	校舎5	1980	RC造	旧	対応済	B	長寿命化
	校舎6	1980	RC造	旧	対応済	B	長寿命化
	体育館1	1980	S造	旧	対応済	B	長寿命化
	体育館2	1980	S造	旧	対応済	B	長寿命化
	体育館3	1980	S造	旧	対応済	B	長寿命化
	校舎7	1986	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎8	1986	RC造	新	—	B	長寿命化
校舎9	1986	RC造	新	—	B	長寿命化	
滝沢市立鶴飼小学校	校舎1	1976	RC造	旧	対応済	C	長寿命化
	校舎2	1978	RC造	旧	対応済	C	長寿命化
	校舎3	1979	RC造	旧	対応済	C	長寿命化
	校舎4	1983	RC造	新	—	C	長寿命化
	校舎5	1978	RC造	旧	対応済	C	長寿命化
	体育館1	1981	S造	新	—	B	長寿命化
	体育館2	1986	S造	新	—	B	長寿命化
	校舎6	1986	RC造	新	—	C	長寿命化
	校舎7	1986	RC造	新	—	C	長寿命化
	校舎8	1987	RC造	新	—	A	長寿命化
校舎9	1987	RC造	新	—	A	長寿命化	
滝沢市立一本木小学校	体育館1	1977	S造	旧	対応済	C	要調査/改築
	体育館2	1977	S造	旧	対応済	C	要調査/改築
	校舎1	1993	RC造、S造	新	—	B	長寿命化
	校舎2	1993	RC造、S造	新	—	B	長寿命化
滝沢市立姥屋敷小学校	校舎3	1994	RC造、S造	新	—	B	長寿命化
	校舎1	1947	木造、CB造	旧	対応済	C	要調査/改築
	校舎2	1947	木造、CB造	旧	対応済	C	要調査/改築
	校舎3	1984	木造、CB造	新	—	C	要調査/改築
	校舎4	1947	木造、CB造	旧	対応済	C	要調査/改築
	校舎5	1979	RC造、木造	旧	対応済	B	長寿命化
	渡り廊下1	1979	RC造、木造	旧	対応済	C	要調査/改築
	体育館(小中供用)	2009	S造	新	—	A	長寿命化
	渡り廊下2	2010	S造	新	—	A	長寿命化
校舎6	2010	S造	新	—	A	長寿命化	
滝沢市立柳沢小学校	校舎1	1979	RC造	旧	対応済	A	長寿命化
	校舎2(小中供用)	2002	RC造	新	—	A	長寿命化
	校舎3	2002	RC造	新	—	A	長寿命化
	体育館(小中供用)	2003	RC造	新	—	A	長寿命化


施設名	建物名	建築年度	構造	耐震基準	耐震補強	躯体目視	躯体判定
滝沢市立滝沢東小学校	校舎1	1995	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎2	1995	RC造	新	—	B	長寿命化
	体育館1	1995	S造	新	—	B	長寿命化
	体育館2	1995	S造	新	—	B	長寿命化
	体育館3	1995	S造	新	—	B	長寿命化
滝沢市立滝沢南中学校	校舎1	1980	RC造	旧	対応済	B	長寿命化
	体育館	1988	S造	新	—	B	長寿命化
	クラブハウス	1988	S造	新	—	B	長寿命化
	校舎2	1994	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎3	2007	RC造	新	—	A	長寿命化
	渡り廊下1	2007	RC造	新	—	A	長寿命化
	武道場	2013	S造	新	—	A	長寿命化
	渡り廊下2	2013	S造	新	—	A	長寿命化
滝沢市立滝沢第二中学校	校舎1	1985	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎2	1985	RC造	新	—	B	長寿命化
	体育館	1985	S造	新	—	B	長寿命化
	渡り廊下1	1985	S造	新	—	B	長寿命化
	クラブハウス	1985	S造	新	—	B	長寿命化
	校舎3	1992	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎4	1993	RC造	新	—	B	長寿命化
	武道場	2012	S造	新	—	A	長寿命化
滝沢市立一本木中学校	校舎	1992	RC造	新	—	B	長寿命化
	体育館	1992	RC造	新	—	B	長寿命化
	クラブハウス	1992	RC造	新	—	B	長寿命化
滝沢市立姥屋敷中学校	校舎1	1951	木造、CB造	旧	対応済	C	要調査/改築
	校舎2	1963	木造、CB造	旧	対応済	C	要調査/改築
	渡り廊下	1963	木造、CB造	旧	対応済	C	要調査/改築
	体育館(小中供用)	2009	S造	新	—	A	長寿命化
滝沢市立柳沢中学校	校舎2(小中供用)	2002	RC造	新	—	A	長寿命化
	校舎1	2002	RC造	新	—	A	長寿命化
	体育館(小中供用)	2003	RC造	新	—	A	長寿命化
滝沢市立滝沢中学校	校舎1	1985	RC造	新	—	B	長寿命化
	校舎2	1985	RC造	新	—	B	長寿命化
	体育館1	1985	S造	新	—	C	長寿命化
	体育館2	1985	S造	新	—	C	長寿命化
	体育館3	1985	S造	新	—	C	長寿命化
	校舎3	1992	RC造	新	—	A	長寿命化
	校舎4	1992	RC造	新	—	A	長寿命化
	武道場1	2011	S造	新	—	A	長寿命化
	武道場2	2011	S造	新	—	A	長寿命化

## イ 躯体以外の判定

躯体以外の評価基準についても、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」により次のとおりとし、目視、または経過年数を基準とし判定します。

なお、目視等は劣化状況調査票を用い健全度を算出します。

### ① 屋根・屋上、外壁・外部の目視による評価基準

良好  劣化	評価	基準	評価点
	A	概ね良好	100
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)	75	
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)	40	
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等	10	



② 内部、電気設備、機械設備の経過年数による評価基準

評価	基準		評価点
	A	20年未満	
B	20～40年		75
C	40年以上		40
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合		10



③ 部位のコスト配分

部位	屋根・屋上	外壁・外部	内部	電気設備	機械設備	計
コスト配分	5.1	17.2	22.4	8.0	7.3	60.0

④ 健全度

健全度は以下の計算式で算出します。

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値(60点)で除します。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

○ 躯体以外の判定結果

判定の結果、姥屋敷小学校、鶉飼小学校、滝沢第二小学校、姥屋敷中学校において、特に劣化が著しいことがわかります。長寿命化のためには、大規模改修が必要と考えられます。

健全度の点数に関わらずC、D評価の部位は、今後、当該施設を長寿命化していくためには、優先的に修繕・改修が必要な部分となります。

施設名	建物名	屋根・屋上		外壁・外部		内部		電気設備		機械設備		外構	躯体以外の健全度 総和(部位の 点数×部位の コスト配分)÷ 60
		コスト 配分	5.1	コスト 配分	17.2	コスト 配分	22.4	コスト 配分	8	コスト 配分	7.3		
		評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数		
滝沢市立篠木小学校	校舎1	B	75	B	75	B	75	B	75	C	40	B	71
	校舎2	D	10	B	75	B	75	B	75	B	75	—	69
	体育館	D	10	B	75	B	75	B	75	B	75	—	69
滝沢市立滝沢小学校	校舎1	B	75	A	100	B	75	B	75	C	40	B	78
	校舎2	B	75	A	100	B	75	B	75	C	40	B	78
	体育館	B	75	B	75	D	10	B	75	B	75	—	51
	校舎3	B	75	A	100	B	75	B	75	C	40	B	78
	校舎4	B	75	A	100	B	75	B	75	C	40	B	78
	校舎5	B	75	A	100	B	75	B	75	C	40	B	78
	校舎6	A	100	B	75	B	75	B	75	B	75	—	77
	渡り廊下1	A	100	B	75	B	75	B	75	B	75	—	77
	校舎7	A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	—	100
	渡り廊下2	A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	—	100
滝沢市立滝沢第二小学校	校舎1	B	75	C	40	C	40	B	75	B	75	B	52
	校舎2	B	75	C	40	C	40	B	75	B	75	B	52
	校舎3	B	75	C	40	C	40	B	75	B	75	B	52
	校舎4	B	75	C	40	C	40	B	75	B	75	B	52
	校舎5	B	75	C	40	C	40	B	75	B	75	B	52
	校舎6	B	75	C	40	C	40	B	75	B	75	B	52
	体育館1	A	100	A	100	A	100	B	75	B	75	B	94
	体育館2	A	100	A	100	A	100	B	75	B	75	B	94
	体育館3	A	100	A	100	A	100	B	75	B	75	B	94
	校舎7	B	75	C	40	C	40	B	75	B	75	B	52
	校舎8	B	75	C	40	C	40	B	75	B	75	B	52
	校舎9	B	75	C	40	C	40	B	75	B	75	B	52

施設名	建物名	屋根・屋上		外壁・外部		内部		電気設備		機械設備		外構	躯体以外の健全度 総和(部位の 点数×部位の コスト配分)÷ 60	
		コスト 配分	5.1	コスト 配分	17.2	コスト 配分	22.4	コスト 配分	8	コスト 配分	7.3			
		評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価		
滝沢市立鶯飼小学校	校舎1	C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40	
	校舎2	C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40	
	校舎3	C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40	
	校舎4	C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40	
	校舎5	C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40	
	体育館1	B	75	B	75	B	75	B	75	B	75	B	75	
	体育館2	B	75	B	75	B	75	B	75	B	75	B	75	
	校舎6	B	75	B	75	A	100	B	75	B	75	B	84	
	校舎7	B	75	B	75	A	100	B	75	B	75	B	84	
滝沢市立一本木小学校	校舎8	A	100	A	100	A	100	B	75	B	75	B	94	
	校舎9	A	100	A	100	A	100	B	75	B	75	B	94	
	体育館1	C	40	B	75	B	75	C	40	C	40	A	63	
	体育館2	C	40	B	75	B	75	C	40	C	40	A	63	
	校舎1	B	75	C	40	A	100	B	75	B	75	B	74	
	校舎2	B	75	C	40	A	100	B	75	B	75	B	74	
	校舎3	B	75	C	40	A	100	B	75	B	75	B	74	
	滝沢市立姥屋敷小学校	校舎1	C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40
		校舎2	C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40
校舎3		C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40	
校舎4		C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40	
校舎5		B	75	C	40	B	75	B	75	B	75	—	65	
渡り廊下1		B	75	C	40	B	75	B	75	B	75	—	65	
体育館(小中供用)		A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	—	100	
渡り廊下2		A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	—	100	
校舎6		A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	—	100	
滝沢市立柳沢小学校	校舎1	A	100	A	100	A	100	B	75	B	75	A	94	
	校舎2(小中供用)	A	100	A	100	A	100	A	100	C	40	A	93	
	校舎3	A	100	A	100	A	100	A	100	C	40	A	93	
	体育館(小中供用)	A	100	A	100	A	100	B	75	B	75	A	94	
滝沢市立滝沢東小学校	校舎1	B	75	C	40	B	75	B	75	B	75	B	65	
	校舎2	B	75	C	40	B	75	B	75	B	75	B	65	
	体育館1	A	100	B	75	A	100	C	40	B	75	B	82	
	体育館2	A	100	B	75	A	100	C	40	B	75	B	82	
滝沢市立滝沢南中学校	体育館3	A	100	B	75	A	100	C	40	B	75	B	82	
	校舎1	A	100	A	100	B	75	B	75	B	75	B	84	
	体育館	C	40	C	40	C	40	B	75	B	75	—	49	
	クラブハウス	C	40	C	40	C	40	B	75	B	75	—	49	
	校舎2	A	100	A	100	B	75	B	75	B	75	—	84	
	校舎3	A	100	A	100	A	100	A	100	C	40	—	93	
	渡り廊下1	A	100	A	100	A	100	A	100	C	40	—	93	
	武道場	A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	—	100	
	渡り廊下2	A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	—	100	
滝沢市立滝沢第二中学校	校舎1	B	75	C	40	B	75	B	75	C	40	B	61	
	校舎2	B	75	C	40	B	75	B	75	C	40	B	61	
	体育館	C	40	C	40	B	75	B	75	B	75	—	62	
	渡り廊下1	C	40	C	40	B	75	B	75	B	75	—	62	
	クラブハウス	C	40	C	40	B	75	B	75	B	75	—	62	
	校舎3	B	75	C	40	B	75	B	75	B	75	—	65	
	校舎4	B	75	C	40	B	75	B	75	B	75	—	65	
	武道場	A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	—	100	
	渡り廊下2	A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	—	100	
滝沢市立一本木中学校	校舎	B	75	B	75	B	75	B	75	C	40	B	71	
	体育館	B	75	B	75	A	100	A	100	B	75	—	88	
	クラブハウス	B	75	B	75	A	100	A	100	B	75	—	88	
	滝沢市立姥屋敷中学校	校舎1	C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40
校舎2		C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40	
渡り廊下		C	40	C	40	C	40	C	40	C	40	B	40	
体育館(小中供用)		A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	—	100	
滝沢市立柳沢中学校	校舎2(小中供用)	A	100	A	100	A	100	A	100	C	40	A	93	
	校舎1	A	100	A	100	A	100	A	100	C	40	A	93	
	体育館(小中供用)	A	100	A	100	A	100	B	75	B	75	A	94	
滝沢市立滝沢中学校	校舎1	B	75	C	40	B	75	B	75	B	75	B	65	
	校舎2	B	75	C	40	B	75	B	75	B	75	B	65	
	体育館1	B	75	C	40	B	75	B	75	B	75	A	65	
	体育館2	B	75	C	40	B	75	B	75	B	75	A	65	
	体育館3	B	75	C	40	B	75	B	75	B	75	A	65	
	校舎3	A	100	A	100	A	100	B	75	B	75	B	94	
	校舎4	A	100	A	100	A	100	B	75	B	75	B	94	
	武道場1	A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	
武道場2	A	100	A	100	A	100	A	100	A	100	A	100		

ウ 施設ハード面の評価

上記の「躯体の判定」「躯体以外の判定」から、施設ハード面の評価を行います。また、評価は、以後に行うソフト面の評価も踏まえた総合判断を行うため5段階評価とし、次のとおり評価点を求めます。

評価が3点の施設は、今後、当該施設を長寿命化していくには、優先的に修繕・改修が必要なものと判断できます。

① 評価基準

点数	評価内容
5点	健全度が90～100
4点	健全度が70～89
3点	健全度が40～69
2点	健全度が10～39、もしくは躯体が要調査/改築と判定されるもの
1点	健全度が10以下、もしくは躯体が使用不可と判定されるもの

○施設ハード面の判定結果

躯体判定で、要調査又は改築と判定された建物については、評価点が2点となり、長寿命化のためには、大規模改修が必要と考えられます。

施設名	建物名	躯体判定	躯体以外の健全度	評価点 5.0満点
			総和(部位の 点数×部位の コスト配分)÷ 60	
滝沢市立篠木小学校	校舎1	長寿命化	71	4.0
	校舎2	長寿命化	69	3.0
	体育館	長寿命化	69	3.0
滝沢市立滝沢小学校	校舎1	長寿命化	78	4.0
	校舎2	長寿命化	78	4.0
	体育館	長寿命化	51	3.0
	校舎3	長寿命化	78	4.0
	校舎4	長寿命化	78	4.0
	校舎5	長寿命化	78	4.0
	校舎6	長寿命化	77	4.0
	渡り廊下1	長寿命化	77	4.0
	校舎7	長寿命化	100	5.0
	渡り廊下2	長寿命化	100	5.0
滝沢市立滝沢第二小学校	校舎1	長寿命化	52	3.0
	校舎2	長寿命化	52	3.0
	校舎3	長寿命化	52	3.0
	校舎4	長寿命化	52	3.0
	校舎5	長寿命化	52	3.0
	校舎6	長寿命化	52	3.0
	体育館1	長寿命化	94	5.0
	体育館2	長寿命化	94	5.0
	体育館3	長寿命化	94	5.0
	校舎7	長寿命化	52	3.0
	校舎8	長寿命化	52	3.0
	校舎9	長寿命化	52	3.0
	滝沢市立鶴飼小学校	校舎1	長寿命化	40
校舎2		長寿命化	40	3.0
校舎3		長寿命化	40	3.0
校舎4		長寿命化	40	3.0
校舎5		長寿命化	40	3.0
体育館1		長寿命化	75	4.0
体育館2		長寿命化	75	4.0
校舎6		長寿命化	84	4.0
校舎7		長寿命化	84	4.0
校舎8	長寿命化	94	5.0	
校舎9	長寿命化	94	5.0	

施設名	建物名	躯体判定	躯体以外の健全度	評価点 5.0満点	
			総和(部位の 点数×部位の コスト配分)÷ 60		
滝沢市立一本木小学校	体育館1	要調査/改築	63	2.0	
	体育館2	要調査/改築	63	2.0	
	校舎1	長寿命化	74	4.0	
	校舎2	長寿命化	74	4.0	
	校舎3	長寿命化	74	4.0	
滝沢市立姥屋敷小学校	校舎1	要調査/改築	40	2.0	
	校舎2	要調査/改築	40	2.0	
	校舎3	要調査/改築	40	2.0	
	校舎4	要調査/改築	40	2.0	
	校舎5	長寿命化	65	3.0	
	渡り廊下1	要調査/改築	65	2.0	
	体育館(小中供用)	長寿命化	100	5.0	
	渡り廊下2	長寿命化	100	5.0	
	校舎6	長寿命化	100	5.0	
	滝沢市立柳沢小学校	校舎1	長寿命化	94	5.0
		校舎2(小中供用)	長寿命化	93	5.0
校舎3		長寿命化	93	5.0	
体育館(小中供用)		長寿命化	94	5.0	
滝沢市立滝沢東小学校	校舎1	長寿命化	65	3.0	
	校舎2	長寿命化	65	3.0	
	体育館1	長寿命化	82	4.0	
	体育館2	長寿命化	82	4.0	
	体育館3	長寿命化	82	4.0	
滝沢市立滝沢南中学校	校舎1	長寿命化	84	4.0	
	体育館	長寿命化	49	3.0	
	クラブハウス	長寿命化	49	3.0	
	校舎2	長寿命化	84	4.0	
	校舎3	長寿命化	93	5.0	
	渡り廊下1	長寿命化	93	5.0	
	武道場	長寿命化	100	5.0	
	渡り廊下2	長寿命化	100	5.0	
滝沢市立滝沢第二中学校	校舎1	長寿命化	61	3.0	
	校舎2	長寿命化	61	3.0	
	体育館	長寿命化	62	3.0	
	渡り廊下1	長寿命化	62	3.0	
	クラブハウス	長寿命化	62	3.0	
	校舎3	長寿命化	65	3.0	
	校舎4	長寿命化	65	3.0	
	武道場	長寿命化	100	5.0	
	渡り廊下2	長寿命化	100	5.0	
滝沢市立一本木中学校	校舎	長寿命化	71	4.0	
	体育館	長寿命化	88	4.0	
	クラブハウス	長寿命化	88	4.0	
滝沢市立姥屋敷中学校	校舎1	要調査/改築	40	2.0	
	校舎2	要調査/改築	40	2.0	
	渡り廊下	要調査/改築	40	2.0	
	体育館(小中供用)	長寿命化	100	5.0	
滝沢市立柳沢中学校	校舎2(小中供用)	長寿命化	93	5.0	
	校舎1	長寿命化	93	5.0	
	体育館(小中供用)	長寿命化	94	5.0	
滝沢市立滝沢中学校	校舎1	長寿命化	65	3.0	
	校舎2	長寿命化	65	3.0	
	体育館1	長寿命化	65	3.0	
	体育館2	長寿命化	65	3.0	
	体育館3	長寿命化	65	3.0	
	校舎3	長寿命化	94	5.0	
	校舎4	長寿命化	94	5.0	
	武道場1	長寿命化	100	5.0	
	武道場2	長寿命化	100	5.0	

(2) 施設ソフト面の評価

ソフト面の評価については、年間利用者数率、年間稼働日数(率)、市のコスト(年間維持費)を基準とし、ソフト面の評価点を出します。評価点は、5段階評価で3つの基準の平均点とします。計算式でマイナス評価となった場合は、1点とします。

また、学校、公営住宅は評価が難しいため別基準とします。

なお、人命に関わる施設(庁舎、消防、防災施設等)及び評価基準にそぐわない施設(給食センター、市民福祉センター、牧野施設、倉庫等)は、施設ソフト面の評価対象外とします。

① 評価基準(基本)

指標	評価内容
①年間利用者数率	利用率で評価
②年間稼働日数	稼働率で評価
③市のコスト	市のコスト(年間維持費)で評価

点数	①年間利用者数率	②年間稼働日数率	③市のコスト
	年間利用者数÷ (収容人員×開館日数)	年間開館日数/365日	対象施設の平均値(100%) に対する割合
5点	100%以上	100%以上	40%未満
4点	75%以上100%未満	75%以上100%未満	40%以上80%未満
3点	50%以上75%未満	50%以上75%未満	80%以上120%未満
2点	25%以上50%未満	25%以上50%未満	120%以上160%未満
1点	25%未満	25%未満	160%以上

※収容人員が定められていない場合、消防法施行令第1条の2第4項の総務省令で定める収容人員の算定方法より算出する。

※年間維持費の例:光熱水費、修繕費、維持管理に必要な各種委託料 など

② 評価基準(学校)

指標	評価内容
利用実態(学級数)	各学校の普通学級数で評価

点数	利用実態 学級数
	5点
4点	19学級以上25学級
3点	12学級以上18学級(H27文科省手引き 適正規模の標準)
2点	5学級以上11学級
1点	4学級以下

③ 評価基準(公営住宅)

指標	評価内容
①年間利用戸数率	利用率で評価
②市のコスト	市のコスト(年間維持費)で評価

点数	①年間利用戸数率	②市のコスト
	年間利用戸数/利用可能戸数	対象施設の平均値(100%) に対する割合
5点	100%以上	40%未満
4点	75%以上100%未満	40%以上80%未満
3点	50%以上75%未満	80%以上120%未満
2点	25%以上50%未満	120%以上160%未満
1点	25%未満	160%以上

○ソフト面の判定結果

学校教育施設においては、学級数により評価されるため、学級数が少ない学校については、評価点も低い結果となっています。

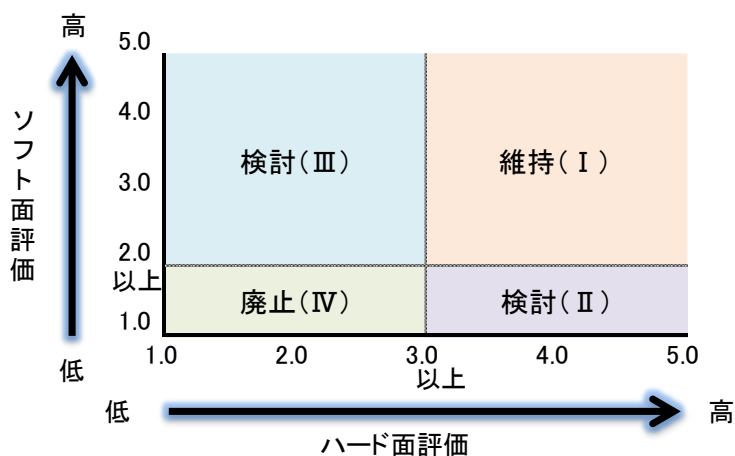
施設名	学校評価	評価点 (5.0満点)
	学級数	
滝沢市立篠木小学校	3.0	3.0
滝沢市立滝沢小学校	5.0	5.0
滝沢市立滝沢第二小学校	3.0	3.0
滝沢市立鶴飼小学校	5.0	5.0
滝沢市立一本木小学校	2.0	2.0
滝沢市立姥屋敷小学校	1.0	1.0
滝沢市立柳沢小学校	1.0	1.0
滝沢市立滝沢東小学校	2.0	2.0
滝沢市立滝沢南中学校	4.0	4.0
滝沢市立滝沢第二中学校	3.0	3.0
滝沢市立一本木中学校	1.0	1.0
滝沢市立姥屋敷中学校	1.0	1.0
滝沢市立柳沢中学校	1.0	1.0
滝沢市立滝沢中学校	3.0	3.0

(3) 施設の方向性

施設の「ハード面」及び「ソフト面」の評価結果から、施設の方向性を判定します。方向性の判定については、次の判断フローを用います。

① 方向性判断フロー

ハード面及びソフト面の評価を、それぞれ5段階に点数化したものを4つの類型に振分けします。



一次評価		方針(計画期間内)/見直し(計画期間外)		
		方向性	内容	
維持	I	存続	現状維持	現状のまま維持
			多機能化	別の目的の施設機能の追加
			集約化	同じ目的の複数施設を集約
			見直し	運営方法・使用料等の見直し
			広域化	他自治体等と共用
			その他	
検討	II	存続	多機能化	別の目的の施設機能の追加
			集約化	同じ目的の複数施設を集約
			見直し	運営方法・使用料等の見直し
			広域化	他自治体等と共用
			その他	
		廃止	譲渡・売却	民間事業者等に譲渡・売却
			転用	施設機能を廃止し他用途へ転用
			移管	地域利用に限定される場合
			その他	
検討	III	存続	減床	規模縮小
			広域化	他自治体等と共用
			その他	
		廃止	譲渡・売却	民間事業者等に譲渡・売却
			機能移転	施設を除却し機能を移転
			その他	
廃止	IV	廃止	譲渡・売却	民間事業者等に譲渡・売却
			除却	施設を除却し機能廃止
			その他	

### ○施設の方向性、総合判定結果

学校教育施設の総合判定結果は、姥屋敷小中学校については「廃止（要検討）」、一本木小学校、柳沢小中学校、一本木中学校については「検討」の評価となりました。この結果はハード面とソフト面を機械的に評価したものになりますが、今後、総合判定結果も踏まえ、学校適正規模の在り方を検討し、具体的な方向性を示していきます。

施設名	建物名	定量評価		
		ハード面評価 (5点満点)	ソフト面評価 (5点満点)	一次評価 結果
滝沢市立篠木小学校	校舎1	4.0	3.0	維持 I
	校舎2	3.0	3.0	維持 I
	体育館	3.0	3.0	維持 I

施設名	建物名	定量評価		
		ハード面評価 (5点満点)	ソフト面評価 (5点満点)	一次評価 結果
滝沢市立滝沢小学校	校舎1	4.0	5.0	維持 I
	校舎2	4.0	5.0	維持 I
	体育館	3.0	5.0	維持 I
	校舎3	4.0	5.0	維持 I
	校舎4	4.0	5.0	維持 I
	校舎5	4.0	5.0	維持 I
	校舎6	4.0	5.0	維持 I
	渡り廊下1	4.0	5.0	維持 I
	校舎7	5.0	5.0	維持 I
	渡り廊下2	5.0	5.0	維持 I
滝沢市立滝沢第二小学校	校舎1	3.0	3.0	維持 I
	校舎2	3.0	3.0	維持 I
	校舎3	3.0	3.0	維持 I
	校舎4	3.0	3.0	維持 I
	校舎5	3.0	3.0	維持 I
	校舎6	3.0	3.0	維持 I
	体育館1	5.0	3.0	維持 I
	体育館2	5.0	3.0	維持 I
	体育館3	5.0	3.0	維持 I
	校舎7	3.0	3.0	維持 I
	校舎8	3.0	3.0	維持 I
	校舎9	3.0	3.0	維持 I
	滝沢市立鵜飼小学校	校舎1	3.0	5.0
校舎2		3.0	5.0	維持 I
校舎3		3.0	5.0	維持 I
校舎4		3.0	5.0	維持 I
校舎5		3.0	5.0	維持 I
体育館1		4.0	5.0	維持 I
体育館2		4.0	5.0	維持 I
校舎6		4.0	5.0	維持 I
校舎7		4.0	5.0	維持 I
校舎8		5.0	5.0	維持 I
校舎9		5.0	5.0	維持 I



施設名	建物名	定量評価		
		ハード面評価 (5点満点)	ソフト面評価 (5点満点)	一次評価 結果
滝沢市立一本木小学校	体育館1	2.0	2.0	検討Ⅲ
	体育館2	2.0	2.0	検討Ⅲ
	校舎1	4.0	2.0	維持Ⅰ
	校舎2	4.0	2.0	維持Ⅰ
	校舎3	4.0	2.0	維持Ⅰ
滝沢市立姥屋敷小学校	校舎1	2.0	1.0	廃止Ⅳ
	校舎2	2.0	1.0	廃止Ⅳ
	校舎3	2.0	1.0	廃止Ⅳ
	校舎4	2.0	1.0	廃止Ⅳ
	校舎5	3.0	1.0	検討Ⅱ
	渡り廊下1	2.0	1.0	廃止Ⅳ
	体育館(小中供用)	5.0	1.0	検討Ⅱ
	渡り廊下2	5.0	1.0	検討Ⅱ
	校舎6	5.0	1.0	検討Ⅱ
滝沢市立柳沢小学校	校舎1	5.0	1.0	検討Ⅱ
	校舎2(小中供用)	5.0	1.0	検討Ⅱ
	校舎3	5.0	1.0	検討Ⅱ
	体育館(小中供用)	5.0	1.0	検討Ⅱ
滝沢市立滝沢東小学校	校舎1	3.0	2.0	維持Ⅰ
	校舎2	3.0	2.0	維持Ⅰ
	体育館1	4.0	2.0	維持Ⅰ
	体育館2	4.0	2.0	維持Ⅰ
	体育館3	4.0	2.0	維持Ⅰ
滝沢市立滝沢南中学校	校舎1	4.0	4.0	維持Ⅰ
	体育館	3.0	4.0	維持Ⅰ
	クラブハウス	3.0	4.0	維持Ⅰ
	校舎2	4.0	4.0	維持Ⅰ
	校舎3	5.0	4.0	維持Ⅰ
	渡り廊下1	5.0	4.0	維持Ⅰ
	武道場	5.0	4.0	維持Ⅰ
	渡り廊下2	5.0	4.0	維持Ⅰ

施設名	建物名	定量評価		
		ハード面評価 (5点満点)	ソフト面評価 (5点満点)	一次評価 結果
滝沢市立滝沢第二中学校	校舎1	3.0	3.0	維持 I
	校舎2	3.0	3.0	維持 I
	体育館	3.0	3.0	維持 I
	渡り廊下1	3.0	3.0	維持 I
	クラブハウス	3.0	3.0	維持 I
	校舎3	3.0	3.0	維持 I
	校舎4	3.0	3.0	維持 I
	武道場	5.0	3.0	維持 I
	渡り廊下2	5.0	3.0	維持 I
滝沢市立一本木中学校	校舎	4.0	1.0	検討 II
	体育館	4.0	1.0	検討 II
	クラブハウス	4.0	1.0	検討 II
滝沢市立姥屋敷中学校	校舎1	2.0	1.0	廃止 IV
	校舎2	2.0	1.0	廃止 IV
	渡り廊下	2.0	1.0	廃止 IV
	体育館(小中供用)	5.0	1.0	検討 II
滝沢市立柳沢中学校	校舎2(小中供用)	5.0	1.0	検討 II
	校舎1	5.0	1.0	検討 II
	体育館(小中供用)	5.0	1.0	検討 II
滝沢市立滝沢中学校	校舎1	3.0	3.0	維持 I
	校舎2	3.0	3.0	維持 I
	体育館1	3.0	3.0	維持 I
	体育館2	3.0	3.0	維持 I
	体育館3	3.0	3.0	維持 I
	校舎3	5.0	3.0	維持 I
	校舎4	5.0	3.0	維持 I
	武道場1	5.0	3.0	維持 I
	武道場2	5.0	3.0	維持 I

## 1.4 現状と課題

学校教育施設においては、大規模改修の30年を経過している学校（校舎）は、篠木小学校、滝沢小学校、滝沢第二小学校、鵜飼小学校、姥屋敷小学校、滝沢南中学校、滝沢第二中学校、滝沢中学校の8校あり、各施設で雨漏りや、設備の不具合、外壁の鉄筋露出等が見られます。近いうちに大規模改修を行い、長寿命化を図る必要があります。

## 1.5 今後の施設のあり方（学校施設整備の基本的な方針）

滝沢市の施設は、人口一人当たりの延床面積が約2.1m<sup>2</sup>（2017年現在）であり、全国的に見ても多いとは言えませんが、将来の人口見込みは、2050年で約15%減となる推計です。今後も続く厳しい財政状況下において、全ての施設において大規模改修を実施することは難しく、優先順位を付ける必要があります。

学校施設の規模・配置計画等の方針については、総合管理計画による縮充を図るため、学校施設規模の適正化を検討する必要があります。一次評価結果により客観的に評価すると、姥屋敷小中学校については「廃止（要検討）」、一本木小学校、柳沢小中学校、一本木中学校については「検討」となります。さらに、評価結果は「維持」となったものの、滝沢第二小学校や滝沢東小学校においては、建設当初と現在の児童生徒数の差により、実質的な空き教室が増えている学校もあることから、同様に検討する必要があります。

ただし、学校施設が防災拠点やコミュニティの役割を果たす施設であることや、時を重ねて活用され続けた木造建物等の様にそれ自体が文化財的価値を有する学校もあることから、判断する段階に於いては、多角的な視点が必要となります。

改修の方針は、学校施設の適正規模の在り方の検討後、優先順位を定めることとしますが、築30年を経過している学校で外部改修が済んでいない学校を優先的に改修することを基本とします。また、大規模改修の実施に於いては、他施設との複合化等も考えられることから、公共施設等総合管理推進PT会議に諮るなど、全庁的な施設整備への方針を決めていく必要があります。

### （1）施設の長寿命化

SRC造、RC造及びS造（普通品質）については、総合管理計画より竣工後30年後に大規模改修、60年後に建替えを基本としますが、長寿命化を図ることにより、さらに施設の延命化・有効活用（築後約80年後に建替えを目安とする）を図っていくこととします。既に大規模改修等の実施時期を超過している施設については、施設の状態等を踏まえながら実施時期を検討していくものとしますが、施設別方針において、「現状維持」としている施設を優先的に、「その他」としている施設については、当面、部分的な修繕対応で今後の方向性を見極めながら対応していくものとします。

## (2) 施設の維持管理コストの縮減、PPP（公民連携）等の推進

施設改修の際は、省エネルギー設備を積極的に導入するほか、指定管理者制度や包括外部委託をはじめとしたPPPの積極的な導入を検討し、維持管理コストの縮減を図ります。また、施設の大規模改修や更新の手法を検討する際には、施設の役割を勘案しつつ、PFI\*やESCO事業\*等の導入を検討します。

※PFI：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化やサービスの向上を図る公共事業の手法をいう。

※ESCO事業：基本的に省エネルギー改修にかかる費用を光熱水費の削減分で賄う事業をいう。

## (3) 施設の最適化

施設の大規模改修・更新の際には、施設の位置づけや安全性を考慮しつつ、他類型施設との複合化や類似機能の集約化を検討します。また、施設の更新は既存施設の規模を超えないものとし、新たに施設を設置する必要がある場合には、既存施設との複合化や多機能化などを検討します。

施設の大規模改修や更新を実施する際には、多様な利用者を考慮し、ユニバーサルデザインに配慮します。

## (4) 利用者の安全確保

各施設において、高度の危険性が認められた公共施設等については、速やかに修繕を実施します。また、老朽化等により供用廃止され、かつ、今後も利用見込みのない公共施設については、十分な安全対策を実施するとともに、解体や除却等を検討します。

## (5) 更新費用の削減

施設の管理については、総合管理計画により、量、質、サービス及びコストの見直しを図り、「縮小させつつ、充実を図る～縮充～」を方針としています。

学校施設においては、令和3年度より学校適正規模の在り方を検討し、学校施設全体の適正規模化を図り、計画的な改修等により更新費用の削減を進めます。

総合管理計画 (改修・更新費用) (面積)	個別施設計画 (縮充後の費用) (縮充後の面積)
【集会施設】 約 200 億円 66,556 m <sup>2</sup>	約 200 億円 66,556 m <sup>2</sup>

## (6) 近隣自治体との連携

保有する施設を効率的・効果的に使用するため、県や近隣自治体等との広域的な施設利用が図れる場合は、広域連携の検討を行います。

## (7) 財源の確保

本市の財政は、扶助費等の義務的経費の増加や様々な行政需要の増加などにより極めて厳しい状況が続いているため、財政構造改革等により事務事業の見直し、受益者負担の見直し等の取組を進めています。しかしながら、少子高齢化の進行等により、社会福祉関連経費の更なる増加が見込まれることなどから、今後の財政状況は一層厳しさを増すと考えられます。

そこで、公共施設の大規模改修や建替えに充てるための基金の設置や、未利用資産の売却や貸付による増収などの方策を検討する必要があります。

将来世代にとって必要と判断された公共施設の大規模改修等の経費には、一般財源、基金を充当するほかに、各種事業債や補助金等を活用し財源の確保に努めます。

## 1.6 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

これまで、学校施設の改修等に当たっては、その都度学校と協議し性能や機能を検討し、整備をしてきました。今後は改修・改築等と併せ、施設間の性能・機能の格差解消に取り組む必要があることから、以下のとおり整備水準を設定するとともに、今後は水準達成に向けて順次整備を進めていきます。

なお、具体的な品質や数量等の詳細な内容については、各学校の状況に応じて検討を行い、適切な整備を実施していきます。

また、学校施設に求められる基本的な整備水準は、その時代に応じて変化していくものであり、時代のニーズに合わせ適宜見直していきます。

部位	建設当初の標準仕様		改修工事の整備水準 (大規模改修)	省エネ型の改修	修繕レベル	
	<整備レベル>					
①耐久性を高めるもの						
外部	屋根・屋上	アスファルト防水	かぶせ工法によるシート防水	外断熱シート防水	パッチ処理	
		シート防水	シート防水張替え			
		スチール鋼板屋根	塗膜防水	外断熱保護防水	カバー工法(一部)	
		カラー鉄板	カバー工法			
	鉄筋コンクリート造躯体	各校の状況による	クラック補修(エポキシ樹脂、無機質注入材等)		クラック補修、中性化抑制 断面修復工法、鉄筋腐食補修	
	鉄骨造躯体		爆裂部補修			
			浮き部補修			
	鉄骨造躯体	その躯体の状況に応じた適切な補修		錆補修		
	外壁	RC造	モルタル下地外装薄塗材E (リシン吹付け)	耐久性を高める塗装材	内断熱	複層塗材
		鉄骨造	外壁ボード塗装(被層薄塗材)	セメントボード葺替え		
外部 開口部		アルミサッシ、スチールサッシ・スチール扉	危険箇所の落下防止対策、塗装、シーリング打 替え、ガラス飛散安全対策	サッシ交換(断熱サッシ、カバー工法)	開閉調整、塗装	
給排水設備	給水	ライニング鋼管	硬質塩化ビニルによる配管の更新			
②現代のニーズに応じた機能向上を図るもの						
内部	各室	内装材	一般材料(EP塗材)	空気汚染物質を発生させない材料に更新	内装の全面撤去・更新(木質化等)	
		換気設備	自然換気	機械換気		
	教室(廊下)	間仕切壁	スチール枠、アルミ枠、木製扉	鋼製、アルミ製スクールパーテーション		
		床	Pタイル、シート床、フローリングブロック	床補修、教室内の段差解消、木質化	床の全面撤去・更新(木質化等)	
		出入建具	木製扉	鋼製、アルミ製スクールパーテーション		
	階段室	防火戸	防火戸(建設時の基準法)	防火戸の改修		
	トイレ	床	湿式(タイル仕上げ)	乾式(抗菌材料)、段差解消		湿式(部分タイル張替え)
		衛生器具	和式便器、一般小便器、水栓	洋式便器(暖房便座)、節水型小便器 自動水栓	節水小便器、自動水栓	衛生器具部分交換
		照明設備	手動照明	自動照明	自動照明	蛍光灯(照明器具交換)
	電気設備	照明設備	蛍光灯	LED照明	LED照明(人感センサー、照度センサー付)	蛍光灯(照明器具交換)
給排水設備	給水	受水槽	直結増圧給水方式	雨水・中水利用		
設備	冷暖房設備	電気暖房	LCC検討のうえ決定			
		FF式暖房機				
		温水暖房				
③多様な学習内容、学習形態への対応						
学習環境の多様化	なし	ICT環境の整備				
内部	バリアフリー	スロープ等に手摺設置、案内板、カウンター設置、誘導ブロック設置、車いす対応駐車場		多目的トイレ、エレベーターの設置		
	防災	非常用自家発電設備、災害時飲料用受水槽FRP製				
	アスベスト	アスベスト封じ込め	アスベスト撤去(改修内容に応じて)			
	防犯		インターホン、防犯カメラ			

## 1.5 個別施設方針

### (1) 中長期計画(学校教育施設)

現段階の方向性は全校「存続」としております。今後学校適正規模の在り方を検討し、学校教育施設全体で適正規模化を図ることとします。ただし、令和元年度時点の出生数から推計した令和7年度の児童生徒数に基づく通常学級数が、学校教育法施行規則等の定めによる、「過小規模校」となる姥屋敷小中学校、柳沢小中学校及び「小規模校」のうち児童生徒数の少ない一本木小学校、一本木中学校は、内容を「現状維持」ではなく「その他」とし、適正な児童生徒の教育環境の整備のため今後検討が必要であるものと位置づけます。

※ 学校教育法施行規則第41条抜粋

小学校の学級数は12学級以上18学級以下を標準とする。

※ 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第4条抜粋

(適正な学校規模の条件)

(1) 学級数がおおむね12学級から18学級までであること。

※ 公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引き参照

学校規模の分類		過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
学級数	小学校	1～5	6～11	12～18	19～30	31以上
	中学校	1～2	3～11	12～18	19～30	31以上

施設別方針（対策内容と実施時期）

施設名	定量評価 一次評価 結果	方針(計画)				方針(見通し)			
		2019(現状)		2026(第1期)		2036(第2期)		2046(第3期)	
		方向性	内容	方向性	内容	方向性	内容	方向性	内容
滝沢市立篠木小学校	維持Ⅰ	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
滝沢市立滝沢小学校	維持Ⅰ	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
滝沢市立滝沢第二小学校	維持Ⅰ	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
滝沢市立鶴飼小学校	維持Ⅰ	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
滝沢市立一本木小学校	検討Ⅲ	存続	その他	存続	その他	存続	その他	存続	その他
滝沢市立姥屋敷小学校	廃止Ⅳ	存続	その他	存続	その他	存続	その他	存続	その他
滝沢市立柳沢小学校	検討Ⅱ	存続	その他	存続	その他	存続	その他	存続	その他
滝沢市立滝沢東小学校	維持Ⅰ	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
滝沢市立滝沢南中学校	維持Ⅰ	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
滝沢市立滝沢第二中学校	維持Ⅰ	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持
滝沢市立一本木中学校	検討Ⅱ	存続	その他	存続	その他	存続	その他	存続	その他
滝沢市立姥屋敷中学校	廃止Ⅳ 要検討	存続	その他	存続	その他	存続	その他	存続	その他
滝沢市立柳沢中学校	検討Ⅱ	存続	その他	存続	その他	存続	その他	存続	その他
滝沢市立滝沢中学校	維持Ⅰ	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持	存続	現状維持

※ 学校内の棟によっては、一次評価結果が異なる部分もありますが、総論として表記しています。

(2) 対策費用（第一期計画）

(単位:千円)

施設名	第一期								
	2018 H30	2019 H31・R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8
滝沢市立篠木小学校				放送設備 12,937					
滝沢市立滝沢小学校						放送設備 19,668			
滝沢市立滝沢第二小学校									
滝沢市立鶴飼小学校	大規模改修 22,988	大規模改修 75,731	大規模改修 72,157						
滝沢市立一本木小学校									
滝沢市立姥屋敷小学校									
滝沢市立柳沢小学校									
滝沢市立滝沢東小学校									
滝沢市立滝沢南中学校									
滝沢市立滝沢第二中学校			トイレ 100,560		放送設備 19,847				
滝沢市立一本木中学校			トイレ 30,880						
滝沢市立姥屋敷中学校									
滝沢市立柳沢中学校									
滝沢市立滝沢中学校			放送設備・トイレ 74,409						

※実施年度及び金額は概算であり、必要に応じて見直すものとします。